

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境					0.30			3.2
1 音環境				3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	-	-	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		サッシュ遮音性能T-2		5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音		2面に吸音材を使用		4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.8	0.35	-	-	2.8
2.1 室温制御				2.7	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	-	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				2.0	0.25	-	-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.2	0.25	-	-	3.2
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-	
1 昼光率				1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度		平均照度=811LX		4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		1作業単位での照明制御かつリモコン・端末での調整可能		5.0	0.25	-	-	
4 空気環境				3.5	0.25	-	-	3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		全面的にF を使用		4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				2.3	0.30	-	-	
1 換気量		建築基準法の1.4倍以上の換気量		5.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能				1.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		非喫煙者が煙にさらされないような十分な対策		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.7
1 機能性				2.9	0.40	-	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高は2.8m		4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		喫煙コーナー、リフレッシュスペース2、自販機の設置		5.0	0.33	-	-	
3 内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性、清掃性の良い仕上げ材、外装には防錆対策		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				4.3	0.31	-	-	4.3
2.1 耐震・免震				5.0	0.48	-	-	
1 耐震性		基準法50%増の耐震性		5.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		免震装置の導入		5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.7	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		高耐用年数の外壁仕上げ材		5.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		高耐用年数の内装仕上げ材		5.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種類以上にBを採用し、Eは不使用		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電、無停電電源装置、受電設備の二重化	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、精密機器の浸水対策	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.2	0.29	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高:6.6m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比:0.03	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		倉庫の設定床荷重:14800N/m ²	5.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制		PAL=178.1	5.0	0.01	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.28	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率設備、高効率照明	5.0	0.42	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
4 効率的運用			3.5	0.28	-	-	3.5
4.1	モニタリング	主要用途別エネルギー消費の内訳把握、妥当性の確認	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	水栓器具全体の過半に節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	断熱材、ビニル床シート	4.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材の分別が容易な工法	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤は使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=87%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	オール電化のため、燃焼機器は使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車、駐輪場の設置、循環バスルート、出入口の渋滞緩和措置	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明、広告物照明のチェックリストの過半を満足	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	